

みんなのきもち “ありがとう”

～平成29年度 寄付報告書～

一般財団法人よこしんふれあい財団様

同財団は、横浜信用金庫の創立90周年を記念して、平成26年3月に設立され、毎年ご寄付いただいています。



株式会社 アルプス技研様

会社の創業50周年を機に、社会貢献活動として車いす20台をご寄付いただきました。



横浜市ボランティアセンターマスコット
“ボラちゃん”



ほら、
よこはまは
あったかい

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
横浜市ボランティアセンター

ごあいさつ

横浜市社会福祉協議会の活動にご協力いただきありがとうございます。平成29年度もよこはまあいあい基金、障害者年記念基金、福祉基金及び善意銀行に多くの金銭寄付、物品寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

横浜市内でも超高齢社会を迎えるとともに、お一人でお住まいの方や高齢者のみでお暮らしの世帯も年々増えています。また、子どもの貧困や社会的孤立などこれまでの福祉制度では対応が難しい課題も顕在化してきています。

そうした課題の解決に向けて、高齢者や子どもの集いの場、ちょっとした家事支援、食事の支援など地域の皆様による様々な取組みが行われ、多くの方が活躍されています。

皆様のご寄付は、こうした身近な地域の支えあい活動を進めるための貴重な財源として、福祉のまちづくりに活かされています。今後も、誰もが安心して自分らしく暮らせるよう市民の皆様とともに地域福祉の推進に努めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

会長 大場 茂美

横浜市社会福祉協議会の主な事業

- 福祉の調査・企画・広報および啓発
- ボランティア活動の推進
- 横浜生活あんしんセンター事業の実施
- 福祉保健研修交流センター「ウィリング横浜」の運営
- 地域福祉活動の推進
- 社会福祉事業の推進
- 障害者支援センター事業の実施

*横浜市社会福祉協議会は住み慣れた地域の中で、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という活動理念のもと、住民やボランティア、市民団体の方々など市域の公私福祉関係者とともに地域福祉活動を中心に様々な活動を展開する民間団体として、昭和26年3月29日に設立されました。

寄付の流れ



1 寄付のご相談をお受けします

どんなところに寄付したいのか、どのように活用したいのか等寄付者の意向に沿った活用ができるように、お話をお伺いします。金銭だけでなく、物品寄付のご相談も多く寄せられます。(車いす、スポーツ観戦チケット、未使用タオル、災害備蓄用品等)



2 寄付を受け付けます

金銭の場合は横浜市ボランティアセンターに直接お持ちいただくか、銀行振り込みをご利用できます。※お振り込みの際は、事前にご連絡ください。※恐れ入りますが、振り込み手数料はご負担くださいますようお願いいたします。物品の場合は事前にご相談ください。



3 寄付者のご意向に沿った団体・施設等へ周知します

金銭の寄付は、地域福祉推進活動を行っているボランティア団体等への助成金に活用されます。(P10・11参照) 物品の寄付は、配分希望団体・施設等へ周知し、調整を行います。周知先は横浜市内の当事者団体、高齢者福祉施設、障害福祉施設、児童養護施設などさまざまです。(P6・7参照)



4 団体・施設等へ配分します

寄付金・物品を横浜市内の必要としている団体・施設等へ配分します。



平成29年度基金寄付者 (順不同・敬称略)



横浜市社会福祉協議会では3つの基金と善意銀行で寄付を受付けています。

よこはま あいあい基金

この基金は、自分たちの地域を支えあう市民活動団体を応援するために、平成4年（1992年）に創設されました。

基金から生み出される果実（利子）と皆様からのご寄付をもとに、各団体へ助成を行っています。同じ地域に住む人たちが支えあうあたたかなボランティア活動は、高齢者、障害者や子育て中の方など、多くの方に大変喜ばれています。

平成29年度寄付金額：1,456,500円 件数：8件 平成30年3月31日現在 原資額：1,659,768,971円

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会
公益財団法人 神奈川霊園
宗教法人 世界平和統一家庭連合 横浜家庭教会(3件)

ユニー株式会社 関東営業部
ヨコハマ寄付本寄付者
匿名1件

障害者年 記念基金

この基金は、昭和56年（1981年）の国際障害者年を記念し、障害者の自立と社会参加の実現を目指して創設されました。

皆様からのご寄付と、基金から生み出される果実（利子）は、「障害のあるなしに関係なく、誰もが自分らしく暮らしていきたい!」そんな願いをかなえるための活動に役立てられています。

平成29年度寄付金額：2,065,904円 件数：23件 平成30年3月31日現在 原資：1,128,967,779円

横浜 カ・レイ ロケラニ フラストスタジオ
ふれあいチャリティーバザー実行委員会(8件)
パナホーム株式会社 神奈川支社(2件)
共に生きるふれあいバザー実行委員会 代表 綱川 健一(3件)
三菱電機ビルテクノサービス株式会社 横浜支社
パナホーム株式会社
三菱ケミカルMR労働組合 鶴見支部

株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟 澄子
横浜市立上菅田特別支援学校 同窓会
小松 智子
三菱電機株式会社 神奈川支社
ヨコハマ寄付本寄付者
匿名1件

福祉基金

この基金は、昭和57年（1982年）に創設され、横浜市社会福祉協議会が行う自主事業に活用されています。

よこはま地域福祉フォーラムの開催や寄付のPR、区社会福祉協議会の活動支援に充てられ、地域福祉の推進に大きく役立てられています。

平成29年度寄付金額：2,957,771円 件数：8件
平成30年3月31日現在 原資：534,522,680円

NPO法人 日本國風流詩吟吟舞会
NPO法人 日本國風流詩吟吟舞会神奈川地区本部 片桐國佑
株式会社 アズパートナーズ
一般社団法人 横浜市港友会
ヨコハマ寄付本寄付者 匿名3件



平成29年度のよこはま地域福祉フォーラムの様子

ご寄付
いただいた皆様
ありがとう
ございました



善意銀行について

善意銀行とは、皆様から善意の寄付（金銭や物品）をお預かりし、市内の当事者団体、社会福祉施設、地域福祉活動団体などに配分することにより、皆様の善意を広げてゆく事業で、昭和37年に徳島で始まった活動が基になっています。

寄付金は、善意銀行配分委員会での審査を経て「よこはま ふれあい助成金」等に配分され、地域の福祉活動の推進に役立てられています。

平成29年度金銭寄付者(順不同・敬称略)

平成29年度寄付金額：7,816,648円 件数：27件

畑元 美喜

日清オイリオグループ株式会社

吟楽会(2件)

横浜市社会福祉センター利用者一同(2件)

土志田建設株式会社

株式会社 悠石

山崎 泰則

横浜市女性団体連絡協議会

宗教法人 真如苑

株式会社 鉄信 神奈川工事務所

横浜冷凍株式会社

株式会社 横浜ステーションビル シアルプラット東神奈川

YOKOHAMAチャリティコンサート実行委員会

横浜少年少女合唱団

コーロ・ヨコハマーレ

ナザレ工房 シャロンの会

株式会社 ベルク フォルテ森永橋店 お客様一同

UNDO

一般財団法人 よこしんふれあい財団 理事長 大前茂

MHPSエンジニアリング株式会社 横浜統括部

一般社団法人 横浜市商店街総連合会

株式会社 フォー・ズィー・コーポレーション

ヨコハマ寄付本寄付者

匿名2件

寄付者のキモチ～寄付をくださった方にお話をお聞きしました～

ふれあいチャリティーバザー実行委員会

元々は初代代表が本人自身に障害があり、体が不自由であっても誰かの役に立てる、立とうと思ってバザーを始めたのがきっかけです。

会長は交代しましたが、障害がある方や親のいない子どものために寄付を続けています。車イスを寄付したこともあります。

最近はバザーの出展が少なくなっていますが、微力ながら参加費を社会福祉協議会の障害者年記念基金に寄付をしています。今は6～7名で活動をしており、高齢化で動ける人間が少なくなっているのが課題ではありますが、できるだけ長く活動を続けたいと思っています。



読み終わった本の寄付 『ヨコハマ寄付本』

平成26年6月より、横浜市社会福祉協議会とTSUTAYA横浜みなとみらい店の協働の取り組みとしてスタートしました。

読み終わった本の中には、まだ市場価値があるにも関わらず、ゴミとして廃棄されるものが多く存在します。そうした読み終わった本を、TSUTAYA横浜みなとみらい店にご寄付いただくことで、その査定額が横浜市社会福祉協議会への寄付となり、地域の福祉活動等のために使われます。

また、気軽に始められることから、企業の皆様に回収ボックスをご活用いただいています。

寄付については、横浜市ボランティアセンターを始め、市内24箇所（30年3月現在）に設置されている回収ボックスをご利用ください。

※回収ボックスについてなどの詳細は
横浜市ボランティアセンターまでお問合せください。

平成29年度中に寄せられた寄付：11,996冊 187,381円



こちらのQRコードから
ホームページをご覧ください。

ホームページにも
詳しく掲載しているよ



<回収ボックス>

【問合せ先】 横浜市社会福祉協議会 横浜市ボランティアセンター TEL：045-201-8620

寄付者（敬称略・順不同）

中臣 紀代	横浜市社会福祉センター利用者一同（12件）	暮らしフォーラムにし
里見 好博	相鉄グループCSR推進事務局	横浜市葛が谷地域ケアプラザ利用者一同
鬼頭 敦子	相鉄企業株式会社	三上塗装工業株式会社（2件）
反保 浩一（2件）	株式会社 サンルート	JXエンジニアリング株式会社
ナカシマ キヨコ	相鉄ビジネスサービス株式会社	株式会社 バンテック（2件）
ちーぼー	フォーシーズンズヴィラそよかぜ（2件）	株式会社 バンテックセントラル（2件）
鈴木 聡子（2件）	ウイリング横浜利用者一同（3件）	損保ジャパン日本興亜株式会社 横浜支店 営業第一課
榎岡 恵美子	日揮株式会社	中区社会福祉協議会
小寺 恵	特定非営利活動法人 横浜移動サービス協議会（2件）	三菱重工機械システム株式会社
酒井 学	港南区福祉保健活動拠点利用者一同（3件）	NECネットエスアイ株式会社 神奈川支店
鈴木 出	保土ヶ谷区社会福祉協議会（4件）	株式会社 リコー 技術情報センター
中嶋 多賀子	Meiji Seika ファルマ労働組合 横浜研支部	株式会社 ぱど 情報流通部
株式会社 ジェイコムイースト 横浜テレビ局（7件）	株式会社 高栄設備工業	横浜市長津田地域ケアプラザ
南区社会福祉協議会（4件）	コミュニティサロン「ジョイナス アイトピア」	米国内務省 日本語研修所
横浜市東永谷 地域ケアプラザ（4件）	西区社会福祉協議会	合同会社 ベストワークス
	鶴見区社会福祉協議会	匿名28件
	株式会社 野毛印刷社	

Pick UP

遺贈について

人生最後の社会貢献として遺贈という方法があります。

遺贈とは寄付のひとつのかたちで、遺言書を作成してご自身の財産の受取人やその配分先を指定することをいいます。

民法が定める法定相続よりも優先されますので、ご自身の意志に沿った財産の配分をすることができ、税制上の優遇措置もあります。

横浜市社会福祉協議会を配分先として指定していただくと、あなたの大切な財産が横浜市内の地域の助け合い活動のサポートに活かされます。



遺贈に関するQ&A

Q 遺贈寄付は
いくらから
可能ですか？

A いくらからという
決まりはありません。
財産の一部だけを
寄付することも可能です。

Q 遺言書は
どのように作成すれば
良いですか？

A 書き方や手続きに一定の決まりがあります。それに沿っていない場合、無効になることもありますので、弁護士・司法書士等の専門家に相談することをお勧めします。公証役場で公正証書遺言を作成すると、公証人によって保管されますので、紛失や偽造される心配がありません。

善意銀行（物品寄付）

平成29年度物品寄付者（順不同・敬称略） 寄託39件

寄付者	寄付物品	主な配分先
横浜 F・マリノス選手会（6件）	サッカー観戦チケット	市内在住ひとり親家庭、市内障害児福祉団体、市内児童福祉施設・団体、市内青少年支援団体 等
LAUREN BROOKS AVERY	ボールハウステント	横浜市社会福祉センター
東京ガス労働組合 神奈川地域支部	車いす	市内高齢者福祉施設
横浜労働者福祉協議会	未使用タオル	市内障害児者福祉施設、市内児童福祉施設、地域子育て支援拠点 等
ノア・グローバルエンタテインメント株式会社 代表取締役 不破 洋介（2件）	プロレス観戦チケット	市内児童福祉施設・団体、市内在住ひとり親家庭、市内障害児者福祉施設 等
一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会	プロレス観戦チケット	市内障害児者福祉施設
横浜マリノス株式会社（2件）	サッカー観戦チケット	市内児童福祉施設・団体、市内在住ひとり親家庭、市内障害児者福祉施設 等
横浜信用金庫（3件）	美術館入場招待券	市内高齢者福祉団体、横浜市社会福祉センター利用者 等
横浜貨物総合株式会社	アイスショー公演チケット	市内在住ひとり親家庭
日本音楽文化交流協会	演奏会招待券	市内在住ひとり親家庭、市内障害児者福祉施設・団体・連絡会 等
えほん de みらい 高原 和樹 永井 みさえ	絵本	横浜市社会福祉センター
ゴールデン文具株式会社	ボールペン	地域ケアプラザ 等
株式会社日立物流南関東 日立物流南関東「まごころ基金」	車いす	地域ケアプラザ
株式会社 アルプス技研 創業者 取締役会長 松井 利夫 代表取締役社長 今村 篤	車いす	市内高齢者福祉施設、市内障害児者福祉施設
クライシスサポートセンター nolb 代表 濱中 洋平	ミニカー	市内在住ひとり親家庭
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	平成 30 年版 未使用カレンダー	地域ケアプラザ、市内障害児者福祉施設、市内各区社会福祉協議会、横浜市社会福祉センター利用者 等
株式会社 NB 建設	平成 30 年版 未使用カレンダー	地域ケアプラザ、市内障害児者福祉施設、市内各区社会福祉協議会、横浜市社会福祉センター利用者 等

配分先からのありがとうの声（一部）

配分先の方々からのお礼状等を取りまとめ、寄付者へお届けしています。

チケットをくださってありがとうございます。試合を全部観られて楽しかったです。

ホームの入所者の方々のために車いす一台を頂戴致しまして誠にありがとうございます。たく厚く御礼申し上げます。



物品寄付では、車いすや未使用タオル、スポーツ観戦チケットなど、様々なご寄付をいただきます。
いただいた物品は、横浜市内の当事者団体や社会福祉施設などに配分しています。

寄付者	寄付物品	主な配分先
相鉄グループ CSR 推進事務局 ・相模鉄道株式会社 ・相鉄バス株式会社 ・相鉄ステーションリテール株式会社 ・相鉄ローゼン株式会社 ・相鉄不動産株式会社 ・相鉄不動産販売株式会社 ・株式会社 相鉄リビングサポート ・株式会社 相鉄アーバンクリエイツ ・相鉄ホテル株式会社 ・株式会社 相鉄ホテルマネジメント ・相鉄企業株式会社 ・横浜熱供給株式会社 ・株式会社 相鉄ピュアウォーター ・相鉄ビジネスサービス株式会社 ・相鉄ホールディングス株式会社	平成 30 年版 未使用カレンダー	地域ケアプラザ、市内障害児者福祉施設、市内各区社会福祉協議会、横浜市社会福祉センター利用者 等
株式会社 インフィニティー	平成 30 年版 未使用カレンダー	地域ケアプラザ、市内障害児者福祉施設、市内各区社会福祉協議会、横浜市社会福祉センター利用者 等
千代田化工建設株式会社	演奏会招待券	市内障害児者福祉施設・団体・連絡会
稲葉 典子	子ども用玩具	横浜市社会福祉センター
東芝総合人材開発株式会社	アルファ米	市内低所得者支援団体、市内各区社会福祉協議会 等
公益財団法人 みずほ教育福祉財団 理事長 森 信博 (2 件)	野球観戦チケット	市内高齢者福祉施設、市内児童福祉施設・団体、市内在住ひとり親家庭、市内障害児者福祉施設・団体・連絡会 等
JX アイティソリューション株式会社	童話集	横浜市社会福祉センター利用者
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ	車いす	地域ケアプラザ
株式会社 横浜スタジアム 代表取締役社長 岡村 信悟	野球観戦チケット	市内児童福祉施設・団体、市内在住ひとり親家庭、市内障害児者福祉施設・団体・連絡会 等
【匿名】	タオルセット、パジャマ・靴下セット 等	市内低所得者支援団体
【匿名】	男性用パジャマ・コート、タオル 等	市内低所得者支援団体
【匿名】	子ども用グローブ、子ども用ニットビーニー	市内在住ひとり親家庭

寄付者の想い

横浜F・マリノス選手会の取り組み

始めたきっかけとしては、選手として1人でも多くの人に日産スタジアムに足を運んでもらい、F・マリノスの試合を観てもらいたいという想いがあります。この活動(選手会シート)は選手自身が主体的に行動し、一人一人が自覚をもって活動を行っています。継続していくことによって、より多くのF・マリノスファミリーを増やしていきたいと選手一同思っています。

実際に取り組んでみて、自分たちのアクションによって一人でも多くの笑顔が生まれ、それを感じられることをとても幸せに感じています。

各選手がしっかりとこの活動を認識した上で、これからも継続していければと思っています。



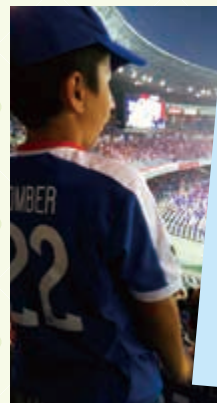
横浜F・マリノス
選手会会長
MF.8
中町 公祐 選手



ご寄付いただいた選手会シート

サッカー観戦チケット 配分先からの声(一部抜粋)

F・マリノスの選手のみ
なさま、チケットありが
とうございました。大好
きなF・マリノスの応援
に行けて嬉しかったで
す。来年も応援に行き
ます。F・マリノス大好き
です。



試合観戦の様子

贈呈式 の様子



三菱ケミカルMR労働組合 鶴見支部様(平成30年2月5日)
「一元玉募金運動」に取り組まれており、その一部を寄付いただきました。



横浜冷凍株式会社様(平成29年12月28日)
昭和48年から寄付をいただいています。



株式会社 鉄信 神奈川工事所様(平成30年1月9日)
平成20年から寄付をいただいています。

寄付者のキモチ～寄付をくださった団体の皆様にきっかけ等をお聞きしました!～

神奈川県空調衛生工業会様

現在は一般社団法人として、社会貢献をすることを1つの目的としています。今回は設立50周年記念で3団体に寄付をしましたが、地元横浜で幅広く活動をしているということで、横浜市社会福祉協議会を選びました。

上菅田特別支援学校 同窓会様

40年以上同窓会を続けてきたのですが、やむを得ない事情で解散することになってしまいました。学校に寄付をすることはできず、寄付先を探しているときに横浜市社会福祉協議会を知り、寄付をしました。

株式会社 大宮ゴルフコース様

先代からなので昭和56年から寄付を始めています。
チャリティーゴルフを春に開催しており、集まったお金の一部を本社のある中区ということで、横浜市社会福祉協議会に寄付をしています。

寄付贈呈式について

金銭の寄付や物品の寄付をいただく中で寄付贈呈式をさせていただきます。
このページではその様子をご紹介します。



まずは名刺交換



本会役員 寄付者様

寄付者より目録や寄付を頂戴します



本会から感謝状を贈呈します



みなさまで記念撮影

横浜市ボランティアセンターのホームページや...



ご歓談の後、贈呈式が終了します

Facebookに掲載します！



当日の様子は、横浜市ボランティアセンターのホームページやFacebookに掲載したり、広報で活用させていただいたりすることもあります。

また、寄付者のご要望に合わせて贈呈式をご提案することもできます。

贈呈式のご希望がある場合はぜひ横浜市ボランティアセンターにご相談ください！



※贈呈式には一定の条件がございます。

皆様からいただいたご寄付は「よこはま ふれあい助成金」をとおして地域の福祉活動に役立てられています。

～よこはま ふれあい助成金 助成団体～

よこはま ふれあい助成金

よこはま ふれあい助成金は、より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施しています。障害者年記念基金、よこはま あいあい基金にいただいた寄付の他、善意銀行や共同募金からの資金を含め、平成29年度は2,011団体に対し、148,981,831円の助成を行いました。

継続的奨励助成（区社協受付分）

助成区分	
A区分 市民参加による地域福祉推進事業	サロンや配食、高齢者食事会、送迎活動など
B区分 障害当事者活動の支援	青年学級や余暇活動などの障害当事者の社会参加事業
C区分 福祉のまちづくり活動の支援	布えほん・布おもちゃグループや施設ボランティア、福祉の講座・研修会など
新規立ち上げ事業	上記A・Bの中の該当する事業の新規立ち上げに関する助成
平成29年度配分実績：1,998件 143,836,831円	

横浜市地域福祉保健計画助成（市社協受付分）

1	横浜市地域福祉保健計画に沿って、新たに取り組む、先駆的な事業に対する支援事業		
平成29年度助成団体一覧			
NO.	団体名	申請事業名・内容	助成額(円)
1	認定特定非営利活動法人 よこはま成年後見つばさ	地域における成年後見制度利用促進事業	1,000,000
2	特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク	中学高校生の放課後支援+キャリア支援「irodori+プラス事業」(中学高校生～22歳までの若者への支援事業)	1,000,000
3	特定非営利活動法人 びーのびーの	～みんなで夕食の会～『たべ～る“ば”大倉山』事業	250,000
4	NPO法人 日吉子育て応援団	乳幼児を育てている親たちを対象とした、地域でつながりをつくる事業	300,000
5	おっち一塾	地域で支える困っているこども(不登校、発達障がい、外国につながる子ども等)支援事業	300,000
6	NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク	地域の担い手のための発達障がい理解啓発推進事業～災害・避難所バージョン～	245,000
7	特定非営利活動法人 バンブーまなび塾	不登校・ひきこもりの青少年に対し、相談・居場所・学習支援を行い、自立を支援する事業	300,000
8	芹が谷コミュニティ てとと	地域の誰もが立ち寄れる居場所づくり事業	270,000
9	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク	視覚障害当事者による社会モデルでの福祉教育講座提供事業	300,000
10	カムオン・シェシェ	当事者による通訳・翻訳グループ活動 支援・展開事業	300,000
11	NPO法人 Mammagomstalle	HAZAMA 支援事業 (様々な支援の狭間にいる方の居場所づくり事業)	300,000
12	NPO法人 横浜ひまわり家族会	「市民講座・依存症について」の講座開催を通じた啓発プロジェクト事業	280,000
13	NPO法人 フラットハート	多様な地域住民を巻き込んだ障がい理解促進事業	300,000
合 計			5,145,000
2	障害者グループホーム開設準備事業		

助成金受配団体紹介

認定特定非営利活動法人 よこはま成年後見つばさ

団体概要と事業内容

地域の中で成年後見制度の利用相談・申立支援や制度の普及・啓発など権利擁護の推進を行っています。障がいのある方からの相談や受任も増えていることから、障がいのある方が地域で孤立せず安心して暮らせるよう、後見人と被後見人が一緒に地域のお祭りに出店したり、被後見人同士の交流会を開催し、支援を継続しています。

寄付者のみなさまへ

法人後見実施団体として、行政からも相談をうける団体に成長することができました。この取組みができていのも助成金や寄付をくださる皆さんのおかげです。今後も、地域で成年後見制度利用促進に取り組んでいきます。ありがとうございました。



カムオン・シエシエ

団体概要と事業内容

瀬谷区で子育てをしている外国に繋がる皆さん同士の支えあいとして、翻訳・通訳をするグループを立ち上げよう!と活動を始めた団体です。助成金により、乳幼児健診、通院同行、学校行事の説明会など、日本語が得意でない方々へ、日々の子育てで戸惑う場面のサポートや、当事者同士の交流会等を行いました。

寄付者のみなさまへ

この助成金により、地域で子育て層に向けて翻訳・通訳サポートを実施できました。

依頼者にとって助けになったことだけでなく、支援をした外国籍の方々が「誰かの役にたった」という気持ちを持つことができましたようです。ありがとうございました。



NPO法人 横浜ひまわり家族会

団体概要と事業内容

薬物依存症の家族会です。薬物依存症だけでなく、アルコール、ギャンブルなど様々な依存症の問題を抱えた家族の方々や一般市民を対象に、公開市民講座を開催しました。依存症の回復の輪を広げるためにも、地域社会に「依存症は病気」ということを浸透させていきます。

寄付者のみなさまへ

薬物依存症者は特に偏見の中で苦しんでいます。依存症で苦しんでいる家族に、依存症という病気を知っていただき、当事者と家族が少しでも回復の方向へ進みだすことを願っています。皆様の温かいお気持ちと貴重な寄付に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



芹が谷コミュニティ てとてと

団体概要と事業内容

地域の誰もが気軽に立ち寄れる居場所をつくりたい。港南区の連合町内会や地区社会福祉協議会と協力しながら子育ての応援をする活動を続けている中で「ちょっと誰かと話したい」と求めているのは子育て世代だけではないことに気が付き、ひとり暮らしの方や子どもたち…地域に暮らす誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりに取り組んでいます。

寄付者のみなさまへ

皆様からの寄付で昨年に関所した活動拠点『陽だまり』の施設改修をさせていただきました。地域の皆さんが地域の繋がりの必要性を感じ、自分ごととして捉えて考えるキッカケを作ればと思ひ活動をしています。その活動に貴重な寄付をいただくことができ大変感謝しています。ありがとうございました。



ご存知ですか？ 税控除

横浜市社会福祉協議会の各基金や善意銀行にご寄付いただくと、所得税や法人税の優遇措置が受けられます。

個人の場合

確定申告によって、所得税法上の「寄付金控除（所得控除）」（所得税法第78条）または「税額控除」（租税特別措置法41条）を受けることができます。また、地方税法上（住民税）の「寄付金税額控除」を受けることができます。

横浜市民の方は、市民税と県民税の両方の控除を受けることができます。

所得税では…

寄付金控除

(所得税法78条
第2項第3号)

税額控除

(租税特別措置法
41条18の3)

または

住民税では…

寄付金税額控除

(地方税法上の
住民税)

個人で寄付された方が出来る税控除

法人の場合

確定申告によって、寄付された金額の一部を法人税法第37条の規定により、「損金算入」することができます。

寄付についてのお問い合わせは…

社会福祉法人

横浜市社会福祉協議会 横浜市ボランティアセンター

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市健康福祉総合センター8階

☎ 045-201-8620

FAX 045-201-1620

E mail yvc@yokohamashakyo.jp

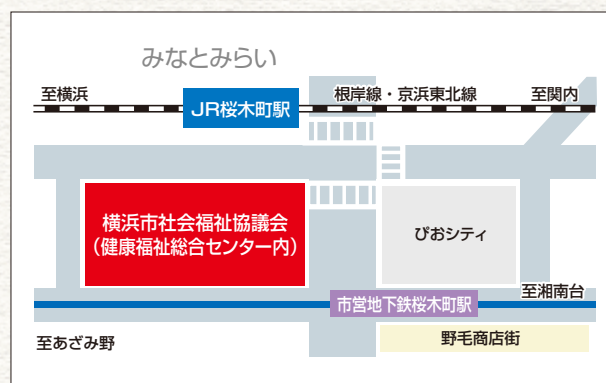
開館日 月～金 : 午前9時～午後9時

土・日・祝 : 午前9時～午後5時

休館日 毎月最終週の月曜日

年末年始(12月29日～1月3日)

全館休館日(4月29日、11月3日、2月11日)



横浜市 ボラセン

🔍 検索

(各区社会福祉協議会でも寄付をお受けしています。詳細は上記までお問い合わせください。)